



かけがえのない地球の未来を守るために、
新エネルギー産業に取り組む企業活動を応援します。
技術、製品をはじめとするあらゆる事業活動を通じて、
新エネルギー産業の現状と未来を伝えます！

TOP | 太陽光発電 | 太陽電池セル・モジュール | シリコン | 太陽電池部材 | 太陽電池製造装置 | 風力発電 | 二次電池・素材
| 電気自動車・充電器 | 燃料電池 | 太陽熱利用 | 水力発電 | バイオマス | LED照明 | スマートグリッド | エネルギー管理
| その他エネルギー | 廃棄物 | リサイクル | 水処理 | 土壌浄化 | 大気汚染処理 | 環境事業 | 排出権 | 政策 | 統計資料

2017.2.14

デリス建築研究所、広島町で1,000kWのメガソーラー建設 全国で合計約50MWの発電所開発関与

- ◆ 企業別バックナンバー
- ◆ 地域別バックナンバー
- ◆ 掲載日別バックナンバー

デリス建築研究所は、各地で太陽光発電所の開発を推進している。同社は2010年の設立。2012年7月の固定価格買取制度スタート以来、各地で太陽光発電所の開発を推進しており、最近では広島県東広島町で1,000kWの太陽光発電所建設を決定した。

関連記事

[デリス建築研究所](#)
[太陽光発電](#)
[広島](#)

デリス建築研究所は、太陽光発電に携わる事業者から寄せられる相談でもっとも多いのが、発電所用地開発についての課題であると指摘する。地権者と事業主との土地の売買・賃借、契約締結の難航や、太陽光パネル設置場所の調査や測量、国や自治体による諸条件のクリア、近隣住民との折衝や交渉など、発電所を稼働させる用地確保が最重要課題の1つとなり、土地取得に念入な精査と手続きが求められる。デリス建築研究所は、全国に不動産事業を展開してきた実績とノウハウにより、課題を持つ土地の事業化に向けた開発を進めてきた。



発電所の建設には用地選定のほか、実際のモジュール設置に向けた開発や設計、施工といったプロセスも重要となる。デリス建築研究所では、大学などとも連携しながら耐震製品の自社開発・販売も行っている。建築分野における技術力も活かし、発電所の建設における信頼性を高める。デリス建築研究所は、これまでのパネルメーカーのようにソーラービジネスをとらえるのではなく、デリス建築研究所では用地を資産活用のもと有効活用するため、様々な土地開発や事業化に関するノウハウと総合力が、太陽光発電の諸問題やトラブルを解決するための必須条件とも分析する。

デリス建築研究所では、太陽光発電電力の買取価格低下が進む中、今後も事業用地の条件などを考慮しながら、太陽光発電所の開発を進め他社へ販売・提供するほか、自社でも売電事業の実施を計画している。また風力、地熱などの各種再生可能エネルギー発電所開発についても検討していくという。

同社の担当者は、「メガソーラー建設用地となる土地を持つ地権者との交渉や許認可の取得など、我々のアドバンテージが活かされると考え太陽光発電所の開発をスタートした。ビルなどの不動産開発であっても太陽光発電所の開発であっても、建築という行為や建設の工程管理、設計、許認可

の取得といった構成している要素は同じものがあり、デベロッパーとしての強みが活かせる。現状の太陽光発電所の開発実績は合計50MWくらいだが、まずは100MW程度を目指して事業を進めていきたい」と語る。

■デリス建築研究所の主な太陽光発電所開発実績

建設場所	出力	事業面積
北海道上川郡	959kW	21,245㎡
宮城県仙台市	16,000kW	255,000㎡
群馬県沼田市	2,620kW	38,409㎡
茨城県板東市	1,185kW	13,540㎡
新潟県新発田市	1,262kW	29,988㎡
静岡県駿東郡	3,980kW	49,704㎡
三重県多気郡	2,239kW	28,596㎡
三重県四日市市	1,173kW	6,717㎡
兵庫県西宮市	1,990kW	36,140㎡
広島県東広島市	1,336kW	20,823㎡
広島県山県郡	1,820kW	26,470㎡
愛媛県四国中央市	1,200kW	17,505㎡
鹿児島県日置市	1,966kW	28,389㎡
鹿児島県熊毛郡	1,603kW	18,388㎡

(C) The Heavy & Chemical Industries News Agency, all rights reserved

掲載の記事・写真・図表などの無断転載を禁止します。著作権は(株)重化学工業通信社に帰属します。